

Ageless Fashion ,Pure JAPAN Quality
株式会社 オフィス松下
渋谷区神宮前 4-18-11-102 TEL : 03-5770-6408

神話の国、島根「出雲・石見・隠岐」への案内人
NDRトラバー
エヌ・ディー・アル株式会社
ご相談は TEL : 03-3770-4517

だんだん雲南

雲南市東京ふるさと会会報
発行日：2017年9月25日 発行所：難波明 編集者：内田正明 印刷：(株)東京デザインセンター

第11号

山陰をこよなく愛する店
山陰海鮮 伊端かば 新宿西口本店
新宿区西新宿 1-15-4 サンビルB1F
TEL : 050-3477-9933

島根県を味わって下さい
出雲神在料理 おくに
中央区銀座 8-4-24 銀座藤井ビルB1F
予約・お問合せ TEL : 050-5590-5395

「九州北部豪雨」「ヒアリ」「THIS イズ A.O.O」など、今年も多くの話題が沸騰する暑い夏でしたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。皆さんに本誌が届く頃には、この猛暑もおさまっているでしょうか。それとも……

さて本紙「だんだん雲南」も第11号を刊行することとなりましたが、今号では7月8日(土曜)にアルカディア市ヶ谷(私学会館)で開催された雲南市東京ふるさと会「第6回総会」の様相を中心として、当会の活動状況等を報告します。

今回の総会は平成27・28年度事業・決算報告、平成29・30年度事業計画・予算案等の審議と「懇親会」を主体として、これまた「いろいろ話題」を提供してくれた映画「たたら侍」の制作者による「トークショー」を織り交ぜながら、硬い話はできるだけ軽く、楽しむ時間を長く取るよう努めました。参加人数も会場スペース上は満杯の総勢113名で、たいへん盛況な催しとなりました。

まずは当会の難波明会長が挨拶をさせていただいた後、来賓の雲南市副市長の藤井勤さん、東京島根県人会副会長の三東崇秀さん、島根県東京事務所所長の吉山治さんら祝辞をいただきました。また、他の来賓については事務局から簡単なプロフィールを紹介。

ここで当初スケジュールを「A」の都度変更し、本会初の試みであるトークショーへ。

トークショーは「たたら侍」と雲南市と題して、錦織良成監督と映画「たたら侍」で主役を演じた青柳翔さんをゲストに迎え、制作秘話や雲

「九州北部豪雨」「ヒアリ」「THIS イズ A.O.O」など、今年も多くの話題が沸騰する暑い夏でしたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。皆さんに本誌が届く頃には、この猛暑もおさまっているでしょうか。それとも……

さて本紙「だんだん雲南」も第11号を刊行することとなりましたが、今号では7月8日(土曜)にアルカディア市ヶ谷(私学会館)で開催された雲南市東京ふるさと会「第6回総会」の様相を中心として、当会の活動状況等を報告します。

今回の総会は平成27・28年度事業・決算報告、平成29・30年度事業計画・予算案等の審議と「懇親会」を主体として、これまた「いろいろ話題」を提供してくれた映画「たたら侍」の制作者による「トークショー」を織り交ぜながら、硬い話はできるだけ軽く、楽しむ時間を長く取るよう努めました。参加人数も会場スペース上は満杯の総勢113名で、たいへん盛況な催しとなりました。

まずは当会の難波明会長が挨拶をさせていただいた後、来賓の雲南市副市長の藤井勤さん、東京島根県人会副会長の三東崇秀さん、島根県東京事務所所長の吉山治さんら祝辞をいただきました。また、他の来賓については事務局から簡単なプロフィールを紹介。

ここで当初スケジュールを「A」の都度変更し、本会初の試みであるトークショーへ。

トークショーは「たたら侍」と雲南市と題して、錦織良成監督と映画「たたら侍」で主役を演じた青柳翔さんをゲストに迎え、制作秘話や雲

盛大に開催

雲南市東京ふるさと会 第6回総会

ご来賓
(順不同敬称略)
雲南市副市長 藤井勤
同市議会議員 藤原信宏
同市政策企画部長 佐藤満
同部員 奥田清
同課副主幹 野々村一彦
主事 安部真美
東京事務所所長 吉山治
東京島根県人会副会長 三東崇秀
東京仁多会副会長 内田義美
(株)さんびる社長 田中正彦



本日、速水市長は事情があつて急遽欠席となり、代わりに私が出席させていただきました。お詫びいたします。お詫びいたします。お詫びいたします。

120名近い方が出席され、第6回総会が盛大に開催されました。お詫びいたします。お詫びいたします。お詫びいたします。

雲南市におかれましては、設立以来、会員同士の交流を深めながら、郷土のPRなど雲南市の街づくり応援としてご支援いただき、誠にありがとうございます。今後とも引き続き、ご協力をお願いいたします。

本市では第二次総合計画において人口の社会増を目標に掲げ、諸施策を推進してまいります。とりわけ子育て世代の流出が大きな問題で、これへの対応が急務と考えます。若い人の呼び込みによる地域活性化、U・I・Jターン推進、限界集落の解消など課題は山積していますが、結局は雲南市に出向された経験をお持ちで、我々以上に雲南市に明るい方です。皆さん貴重な時間を割いていただき誠にありがとうございます。

本日トークショーをお楽しみしている錦織監督とは5・6年前から馴染みがあり、以前から本会での講演をお願いしていましたが、なかなか日程が合わず実現しませんでした。今回やっとその願いが叶う事となり、非常に楽しみにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は限られた時間ではありますが、おおいに楽しんでいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

問題解決できる人材の育成・確保が重要と考え、これに向け諸活動を展開しているところと、昨年プラチナ構想ネットワークが主催する第4回プラチナ大賞(注)最終審査発表会において雲南市の「幸雲南塾」が最上位の「プラチナ大賞」を受賞しました。

チャレンジする若者にやさしい、若者の積極的な活動による持続可能な街づくり、という点を評価してもらったものであり、これを励みとして今後も頑張っていくと考えています。

本年「JRW日本トワイライトエクスペリエンス」(みずかぜ)の運行がスタートしました。6月22日に第一回目のツアーが催され、30名程のお客様が雲南市の普賢谷たたら山内、須我神社などに立ち寄り、子供たちにご協力いただき、旗振りや手振り、要所への案内など、大変お世話になりました。今後、毎週木曜日に10両編成、約30名で開催される予定です。が、地元の人々のあたたかい、おもてなしこそが喜んでいたため、最

雲南市におかれましては、設立以来、会員同士の交流を深めながら、郷土のPRなど雲南市の街づくり応援としてご支援いただき、誠にありがとうございます。今後とも引き続き、ご協力をお願いいたします。

本市では第二次総合計画において人口の社会増を目標に掲げ、諸施策を推進してまいります。とりわけ子育て世代の流出が大きな問題で、これへの対応が急務と考えます。若い人の呼び込みによる地域活性化、U・I・Jターン推進、限界集落の解消など課題は山積していますが、結局は雲南市に出向された経験をお持ちで、我々以上に雲南市に明るい方です。皆さん貴重な時間を割いていただき誠にありがとうございます。

本日トークショーをお楽しみしている錦織監督とは5・6年前から馴染みがあり、以前から本会での講演をお願いしていましたが、なかなか日程が合わず実現しませんでした。今回やっとその願いが叶う事となり、非常に楽しみにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は限られた時間ではありますが、おおいに楽しんでいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

問題解決できる人材の育成・確保が重要と考え、これに向け諸活動を展開しているところと、昨年プラチナ構想ネットワークが主催する第4回プラチナ大賞(注)最終審査発表会において雲南市の「幸雲南塾」が最上位の「プラチナ大賞」を受賞しました。

チャレンジする若者にやさしい、若者の積極的な活動による持続可能な街づくり、という点を評価してもらったものであり、これを励みとして今後も頑張っていくと考えています。

本年「JRW日本トワイライトエクスペリエンス」(みずかぜ)の運行がスタートしました。6月22日に第一回目のツアーが催され、30名程のお客様が雲南市の普賢谷たたら山内、須我神社などに立ち寄り、子供たちにご協力いただき、旗振りや手振り、要所への案内など、大変お世話になりました。今後、毎週木曜日に10両編成、約30名で開催される予定です。が、地元の人々のあたたかい、おもてなしこそが喜んでいたため、最

挨拶

雲南市東京ふるさと会会長 難波明

雲南市に出向された経験をお持ちで、我々以上に雲南市に明るい方です。皆さん貴重な時間を割いていただき誠にありがとうございます。

本日トークショーをお楽しみしている錦織監督とは5・6年前から馴染みがあり、以前から本会での講演をお願いしていましたが、なかなか日程が合わず実現しませんでした。今回やっとその願いが叶う事となり、非常に楽しみにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は限られた時間ではありますが、おおいに楽しんでいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

問題解決できる人材の育成・確保が重要と考え、これに向け諸活動を展開しているところと、昨年プラチナ構想ネットワークが主催する第4回プラチナ大賞(注)最終審査発表会において雲南市の「幸雲南塾」が最上位の「プラチナ大賞」を受賞しました。

チャレンジする若者にやさしい、若者の積極的な活動による持続可能な街づくり、という点を評価してもらったものであり、これを励みとして今後も頑張っていくと考えています。

本年「JRW日本トワイライトエクスペリエンス」(みずかぜ)の運行がスタートしました。6月22日に第一回目のツアーが催され、30名程のお客様が雲南市の普賢谷たたら山内、須我神社などに立ち寄り、子供たちにご協力いただき、旗振りや手振り、要所への案内など、大変お世話になりました。今後、毎週木曜日に10両編成、約30名で開催される予定です。が、地元の人々のあたたかい、おもてなしこそが喜んでいたため、最



祝辞 東京島根県人会副会長 三東 嵩秀

本日、会長の坂根は都合が悪く「雲南は隣の町なんだから、おまえ行け」といふことで私が出席させていだきました。私は飯南町の出身で年間10回ほど田舎に帰っています。その際、雲南空港からレンタカーを利用しますが、どうしても雲南市を通らねば帰れません。また途中雲南市で食事をするというふうには、個人的にも雲南市には大変お世話になっています。ありとろろと云います。

本日、藤井さんと藤原さん他多数のご来賓が出席され盛大な催しとなりました。私も飯南町のあるさと会をやっていいますが、本会の盛況さを非常にうれしく思います。これも本会会員の皆さんの「ふるさとを愛する心」の表れでもあり、ふるさとのPRにもおおいに貢献されているものと考えます。

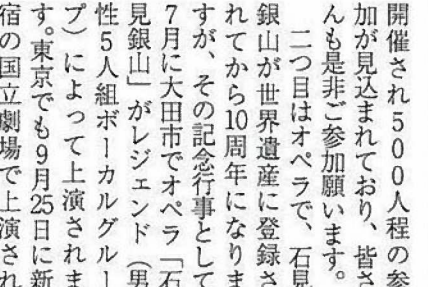
映画「たたら侍」について



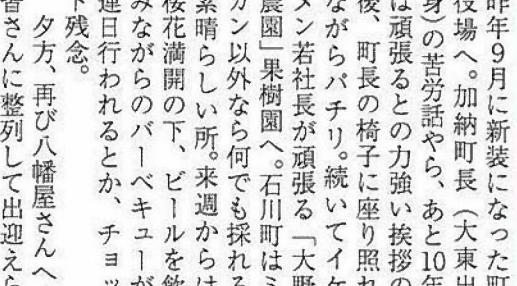
祝辞 島根県東京事務所 吉山 治

私は15年前、雲南市が誕生する前2年間に6カ町村合併協議会に派遣され、新しい雲南市の街づくりに関わって来ました。私は隠岐の出身ですが、雲南市を「もう一つのふるさと」のように感じています。私が持つ雲南に対するイメージは「人」に対するイメージは「人」です。大変親切な方、筋の通った方が多い。やはり長い歴史文化を有する土地に育まれた精神風土が来るものと考えます。

私は現在縁があつて東京に来ており、東京では島根県内市町村の「ふるさと会」に参加します。先ほど三東さんから紹介のあった島根県人会も市町村のふるさと会も主要な話題は同じで、「我々のふるさと」の課題は人口減少であるということです。東京に居ますとなかなか人口減少を実感することが出来るのですが、我が島根では松江市も含め人口減少が進んでおり、これから金掛けに乗り越えていくか、自立した持続可能な地域社会を構築していくかが大きな課題となっています。このためには、いろいろな人々が連携・協力して取り組む必要があります。



第6回 福島県石川町応援ツアー



4月14日朝9時、東京駅に21名が集まり、この人数ならマイクロボスかと思いきや28人乗りのバスとして中型観光バス。車中は山根さんのハートモニカ伴奏に合わせ合唱で盛り上がりあつたという間の石川町。

先ずは昨年、あの加賀屋(和倉温泉)を抜いて日本一になった八幡屋さんでの昼食をたいらげて、

昨年9月に新装になった町役場へ。加納町長(大東出身)の苦勞話やら、あと10年は頑張るとの力強い挨拶の後、町長の椅子に座り照れながらパチリ。続いてイケメン若社長が頑張る「大野農園」果樹園へ。石川町はミカン以外なら何でも採れる素晴らしい所。来週からは桜花満開の下、ビールを飲みながらのバーベキューが連日行われるとか、チョット残念。

夕方、再び八幡屋さんへ。皆さんに整列して出迎えてもらって、ツルツル若返った様な気分の温泉の後は宴会場へ。ミニスカートの若いコンパニオンがずらりと正座でお迎え! 実は隣の宴会場でお呼びになった面々とか、ガックリ。豪華な料理を頂きながら正装のマジシャン山根氏による手品やら炭坑節やらで大賑わい。翌朝1200

いことかと。抹茶を一口頂きステージで踊り等を見てから昼食の「農園Cafe」やい子ばあちゃんへ。85才で元気なばあちゃんのパワーをもらい最後は「おかしなさかい」へ。地元銘菓を味わい、土産に地元産米コシヒカリを頂き、一路東京へ。新宿には18時過ぎ、最終下車の東京駅で全日程が終了。石川町へ普通に行ける普通以上の所。いち早く「福島」が特別扱いされない日が来ることを願い、筆を置きます。なお、来年度は時季・コースなどを再検討し、より魅力あるものとしてご提案致します。乞うご期待。(舟越久記)



【東京会場】
日時 平成29年11月26日(日)
10時~16時
会場 東京国際フォーラム
千代田区丸の内3-5-1



島根県史上最大級のUターンイベント「しまねUターンフェア2017」へ雲南市も参加します。

県外から島根県に移住をお考えの方に市町村や関係機関の担当者が直接相談や情報提供を行います。仕事や住まいなど、暮らしにかかわる相談をしたい方からちよつと島根が気になる方までどなたでも大歓迎ですので、お知り合いの方へぜひお知らせください。

うなんん便り 「お知り合いの方へPRをお願いします」

おたのしみ抽選会

特別賞品(提供者)

- ▼渡辺賞(渡辺弘様)
紳士用ボロシヤツ・2名
- ▼紳士用シルダーバッグ・1名
- ▼松田賞(オフィス松田様)
女性用ニット洋服・1名
- ▼島根館賞(「ほんは」島根館様)
雲南市物産セット・1名
- ▼NDR賞(NDRトラベル様)
選べるギフト券(3千円)・1名
- ▼日進賞(GAINA日進産業様)
ワイン・1名

おくにご賞(雲南料理おくにご様)
日本酒(4合瓶)・5名

かば賞(山陰海鮮地産品かば新西日本店様)
副券(5千、3千、2千円)・各1名

副市長賞・雲南物産セット・1名

議長賞・雲南物産セット・1名

通常賞品

- ▼1等賞・大吟醸・斐伊川和紙セット・1名
- ▼2等賞・純米吟醸・玉子スープセット・2名
- ▼3等賞・玉緑茶・マヨネーズセット・3名
- ▼4等賞・抹茶羊羹・ラーメンセット・4名
- ▼5等賞・田守り麵・しょうゆセット・5名
- ▼参加賞・玄米・100名



科 目		本年度予算	前年度予算	備 考
① 前期繰越金		950,788	950,788	
収 入 の 部	年会費	160,000	180,000	1000円×160名
	総会・交流会会費	630,000	700,000	男性:70人、女性:25人
	雲南市補助金	659,000	659,000	
	雑収入	40,000	40,000	
② 当期収入計		1,489,000	1,579,000	
支 出 の 部	総会・交流会会費	885,000	965,000	第6回交流会会場費
	広報費	220,000	220,000	会報、総会案内
	雲南市関連事業協力費	13,000	23,000	
	事務費	33,000	33,000	事務、通信費
	事務局費	33,000	33,000	事務局行動費、会場使用料等
	会議費	150,000	150,000	役員会会場費等
	諸手当	105,000	105,000	事務局長6万、会計3万、県人会理事会費
	雑費	50,000	50,000	他のふるさと会への祝儀等
③ 当期支出計		1,489,000	1,579,000	
④ 当期収支差額(②-③)		0	0	
⑤ 次期繰越金(①+④)		950,788	950,788	

トークショー 「だんだん侍と雲南市」

青：ゲストの青柳翔さん 錦：ゲストの錦織良成さん
司：司会の吉木登絵さん



司：皆さんお待ちかねのトークイベントを始めます。まずは一言ずつお願いします。

錦：日本文化を世界に発信しようと考えて映画を作りました。雲南市の皆さんには口々に際し多大なご協力をいただき大変お世話になりました。

青：このような素敵な場所に参加させていただき本当にうれしく思います。

司：この映画は国内外から高い評価を得ていますが、かくも島根のすば

た作品でしたので、海外の人から日本を褒められたという気がして素直にうれしかったです。

錦：発表前は何か買えたらしいなという気持ちでいたんですが、本当に買えたという感じが、一気に緊張が走りまして、さすがに日本から来た皆さんのメールが来て、新幹線内でもニュースが流れたとのこと。あちこちで「たたら」という名前が聞かれました。当初海外の人には日本の歴史は理解できないのではと考えていましたが、海外の皆さんも、雲南の風景にとても興味を持ってくださり、海外（欧米）の観衆は日本とだいぶ違うなと感じました。また同時に雲南・島根は世界に通用するんだと感じました。受賞は一つの通過点に過ぎず、今後とも世界に向けてこういった情報を発信していこうと考えています。

司：ここで青柳さんの役どころを……

青：私が演じた佐助というのには決意強い人間ではなく、たくさん失敗し周りの人・大切な人を傷つけた失った人。大切な人、最後は立ち上がり、この物語の中心に強さが感じられる「難しい役柄」でした。撮影中ずいぶん悩まながら相談しながら演じてもらいました。

司：たたら吹きシーンはいかがでしたか？

青：熱かったですね。見学、練習、本番撮影と計3回やりましたが、村下（むらげ）役の人たちの良い玉鋼（たまご）を作りたいという思い、撮影隊の良い面を撮りたいという思い、役者陣の良い芝居をしたという思いが「コチャ混ぜ」になり、炭を投入するタイミングと撮影の段取りが噛み合わないなど現場はけっこう大変でした。

錦：セットではあっても村下役を「刀刀保」の方でやってもう少し、これがおそらく世界初だと思います。もう一度やれと言われたりもなかなか……これも雲南市・島根県、国（刀刀保）の協力のおかげであり、ありがたかったです。

青：八に立ち向かって行く気持ちは良い玉鋼を作る秘訣であり、まさに「気合だ」と感じました。

司：玉鋼・和鉄の製造技術と西洋のそれとの違いから日本の凄さが伺えるのでは……

錦：八と鉄と砂鉄（マサ）だけで純粋な鉄ができる、近代製法で作った鉄より高純度で錆びにくいという特長を持っており、奈良や京都などの古い建物の修復の際に500〜600年経つ

た和鉄でできた釘が錆びずに出てくることあります。このように和鉄がなければ日本刀が作れないだけでなく、重要な文化財や国宝の修復にも和鉄が活躍しているんです。まさに和鉄は現在でも最先端の技術であり誇らしいことであると考えます。

司：その和鉄の技術を伝承しているのが島根県である……

錦：米田さんは10数年前にテレビの専門チャンネルでたたら技術が紹介され、米田さんはそれを観てそれなりに和鉄を理解しているのに対し、自分が理解していないのではないのか。映画を見ていないのではないのか。映画たたら侍ではもう一度自分の足元を見よう」というメッセージを表現しようと考えてました。

司：青柳さんは札幌のご出身と伺いましたが、島根に対してはどのような印象を……

青：撮影が3か月ほどお邪魔し地元の人と何回も交流させてもらいましたが、やはり改めて「人が良い、優しい」と感じました。非常に寒くてハードでしたが、暖かいもの、甘いものを差し入れてもらったり、現地の人の支えがあったからこそ、なにかと撮影が進んだと感じています。以前「渾身」という映画を撮る時も島根に3か月ほど滞在しましたが、その際は同年代の地元の方々（脇役陣）と相模の稽古をやって晩には酒を飲んで、翌日に撮影してまた稽古をして、すごく人の優しさに触れ暖かいところだなと感じましたし、今でも交流があり仲良くさせてもらっています。

司：ハードな撮影も現地の方々の絆があったからこそ乗り越えた……

青：そうですね。あともうひとつ、宍道湖のスキのお陰でも、宍道湖では釣りを楽しませてもらいました。ハハハ……

錦：中海にも行ったんですよ！

青：そうですね。あの辺はほんと全部回りました。それ位すごい魚が釣れるので、ハハハ……

錦：あの……！ここは魚の魅力ではなく島根の魅力……

青：島根の「魚の釣れ方」はすごいという事を、いろんな所で言っているんです。

司：宍道湖で釣りをしている人は案外少ないんだよね。関東地方の釣り場は人が沢山いてすごいじゃない？

司：宍道湖と言えば「しじみ」の方が有名ですが、釣りもできるという新たな魅力を発信していただいているんですね。因みに



に監督は島根の魅力についてはどう思いますか……

錦：私は18歳で島根を出て今関東に住んでいます。16年前「白い船」という映画を作った時、やはり3か月間島根に滞在しましたが、その時も「島根ってこんなに良い所だったのか」と感じました。まず犯罪が少ないという事ですね。残念ながら今、世界も日本も皆普通でなくなっている事が普通ではなくなっている事が普通ではなくなっている事が普通ではなくなっている事が普通……

司：青柳さんは「人が島根の魅力だ」と言われていたが、島根に行くと田舎の風景が残っている所は犯罪が少ないんだ」という事だそうですね。本場の魅力は「そこ」だと思います。それが、田舎の若い人は都会化したいと思っており、都会の人は田舎に行きたい。住みたいと考えており、矛盾している……

司：私の父は大東町・田中の出身（私は東京生まれ）で祖母が大東に住んでいますが、東京に住んでいると時々思ってしまうくらい、田舎の島根に帰りたいと思うことがあります。

錦：関東では、海端はものすごく交通の便が悪くても高級住宅地で地価が上がっているのに、島根では山間部や海端はものすごく地価が下がるんです。聞けば島根の若者は国道沿いのマンションに住みたがるので、窓を開け切ったエアコンのファンがグワッと回っているそうです。10〜20分ほど入れれば山や田んぼがあり、地価の安い所があるのに、

若者たちはそこに土地を買わずに雲南市より地価の高い所へ出て行く……

司：島根県の全ての皆さんに「たたら侍」を観ていただきたいなら、そういう事にはならないかと……

錦：まあ「たたら侍」にそういう力があるか判りませんが、私たちが若い人達に対してこそメッセージを発信する必要があると考えます。

司：青柳さんは若い人たちが羨望の眼差しで見られている訳ですが、その年代の憧れの人が島根の良さを知りたい、島根の若い人たちが「さうだ」と思うのでは……

錦：吉木さんもそうですね。

司：恐れ入ります……

錦：それで、エグザイルのHIROさんが率いる「三代目」というグループがあるのですが、HIROさんがその若いメンバーに対して「どんどん島根に行け」と言ってくれていて、その若いメンバーからもまた島根の良さを発信してもらっており、有難いことです。

司：青柳さんは「人が島根の魅力だ」と言われていたが、島根に行くと田舎の風景が残っている所は犯罪が少ないんだ」という事だそうですね。本場の魅力は「そこ」だと思います。それが、田舎の若い人は都会化したいと思っており、都会の人は田舎に行きたい。住みたいと考えており、矛盾している……

司：私の父は大東町・田中の出身（私は東京生まれ）で祖母が大東に住んでいますが、東京に住んでいると時々思ってしまうくらい、田舎の島根に帰りたいと思うことがあります。

錦：関東では、海端はものすごく交通の便が悪くても高級住宅地で地価が上がっているのに、島根では山間部や海端はものすごく地価が下がるんです。聞けば島根の若者は国道沿いのマンションに住みたがるので、窓を開け切ったエアコンのファンがグワッと回っているそうです。10〜20分ほど入れれば山や田んぼがあり、地価の安い所があるのに、

ド映画もフィルムに戻ってきつつありますが、その理由は「フィルム」アナログの方がデジタルより何倍もクオリティ（画質）が高い」という事です。日本はその事がわかっていない。本は大学の講義で聞いています。今の学生の100%は8K、16Kといったハイビジョン映像（デジタル）の方がフィルムよりも画質が優れていると考えているんです。また、ネットは噂が多いという事を知っているが、それをそのまま信じる大人が多い。最近も西田敏行さんがネット上で中傷されるという事案がありました。もちろん事実無根なんですけどネット（デジタル）に影響される人が非常に沢山います。現在はデジタルではアナログを信じていなければいけない、自分で実際に「その人」に会って聞いた事こそを信用すべき時代に戻ってきた事に気づいていない人が多々います。もっとアナログの良さを広くアピールして行く必要があると考えます。その意味で今、島根が持つべき良さを世界に発信すべき時であり、だからこそフィルムで撮らなければと感じています。もっともフィルムの方が10倍お力ネが掛かりますけどね。

司：青柳さんはモントリオールなどで「世界は島根・日本」肌で感じられたかと思えますが、島根を世界に向けてアピールするとして、今後どのような、どんな情報を発信すべきかと……

青：人と人とのつながりがこんなに深い地域は他にないと感じています。私は都内に住んでいますが、隣近所の人とは挨拶を交わす程度でほとんど付き合いはない状況です。映画「渾身」では「勝手に冷蔵庫に魚を入れたから……」という台詞があったのですが、その地域地域で人と人のつながりが大切な事であり人の心を満たしてくれるんだという事を感じました。このような事を、島根を通じて伝えて行けたら良いなと考えています。

司：それは、本場にすべての日本人に伝えるべきことであり、我々島根にルーツがある人こそが、それを守り伝えるべき事だと思えます。それでは最後にお二方に、今日会場にお越しの皆さんに一言を……

